

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	三浦ふれあいの村		
所在地	三浦市初声町和田3136番地		
サイトURL	http://www.yokohamaymca.org/fureai/index.html		
根拠条例	神奈川県立のふれあいの村条例		
設置目的(設置時期)	児童、生徒、青少年等が自然の中での体験及び人との交流を通じて自立心、協調性等をはぐくむための活動を促進すること (平成7年4月)		
指定管理者名	公益財団法人 横浜YMCA		
指定期間	H23. 4. 1～H30. 3. 31	施設所管課	子ども教育支援課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>「利用状況」がS評価、「利用者の満足度」がS評価、「収支状況」がA評価となり、3項目評価の結果はSとなった。</p> <p>管理運営等の状況、労働環境の確保に係る取組状況等に特段の問題は無く、全般的に極めて良好な管理運営がなされている。</p> <p>今後も施設の機能を活かし、利用者が自然にふれあう体験活動を実施できるよう事業を継続するとともに、更なる利用者の拡大に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 施設・設備の維持管理を適切に実施するとともに、主催事業・自主事業を計画どおり実施し、参加者から好評を得た。</p> <p>◆利用状況 市町村教育委員会への広報活動に継続的に取り組んできた結果、新規学校利用の増加につながり、目標対比で 20.5%のプラスとなったため、S評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者が施設を利用する都度、調査を実施したところ、上位2段階の回答割合が 90.9%となったため、S評価となった。回収率は前年度に比べ改善されているが、引き続き利用者への呼びかけを積極的に行うよう指導した。</p> <p>◆収支状況 施設の老朽化に対応し小規模な修繕を実施する一方、その他の経費については運営努力により支出を抑えた結果、収支比率が 102.38%となったため、A評価となった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	

3項目評価	S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要
S	※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>(施設の設置目的をふまえた運営) ふれあいの村の設置目的を再度確認し、その目的である自然の中で体験や人との交流を通して自立心、協調性を育むといったふれあい教育を推進する。</p>	<p>ふれあいの村を利用する学校のうち、事前訪問を希望する学校12校に対し、出前授業を実施した。マリンプログラムや野外炊事などについて、村のスタッフから直接説明を行った。児童・生徒からは、来村した際に、混乱なく活動できたと評価を受けた。</p>	
<p>(防災を踏まえた地域との連携) ふれあいの村のある三浦市、また隣接する横須賀市は高齢化率が非常に高い地域である。高齢者の多い地域における防災の拠点施設として、住民との協力方法を模索していく。</p>	<p>ふれあいの村を会場として、三浦市と協働で市民健康大学を実施した。また、地域の市民サークルに新たに参加した。地域の避難所運営委員会に参加し、地域の防災訓練の会場として村を提供するなど、地域の防災に貢献している。</p>	
<p>(防災拠点としての活動) 東日本大震災以後、災害時における避難の在り方について防災ウォークラリーを実施する。海浜に位置する野外教育施設の使命として施設の特性を生かした防災プログラムを提供する。</p>	<p>防災ウォークラリーは児童を中心に13団体、824名が参加した。児童自らで災害時をシュミレーションし避難行動を体験してもらった。安全な場所までのルートを考えながら短時間で避難するにはどの様に行動すべきかを考えてもらった。</p>	
<p>(学級経営への援助) 児童、生徒、教職員のコミュニケーション能力の向上を目的としたグループワークレクリエーションプログラムを提供する。与えられた課題に対し、グループ構成員が協力し課題達成を図ることで互いの関係を向上させるプログラムである。</p>	<p>参加団体は年々増加しており、25団体、3,406人が参加した。アンケートからも参加者の評価は高い。教職員からもこのプログラムを体験した場合、クラス内のコミュニケーションが大変良くなったとの評価を受けている。</p>	
<p>(広報) 横須賀三浦地区を中心に学校訪問を実施する。教職員の声を聞き、村の運営や提供プログラムに生かせるようにする。</p>	<p>出前授業で学校を訪問した際に、教職員の声を聞いている。出前授業以外の学校訪問は実施できなかったが、過去からのデータを積み上げている。東日本大震災以後、利用を中止している学校の声を参考にしながら運営に反映させていきたい。</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
ふれあいマリンクラブの開催 地域の児童を対象に海を通して命の大切さ、他者への理解、自然の保護を伝える。	クラブ員35名・ジュニアリーダー7名・ボランティア7名・職員2名で月1回の活動を行った。
ちゃんちゃんクラブの開催 大人の居場所作り、ボランティアの育成として活動を行う。	年4回実施し、延べ23名が参加した。参加者の中から、主催事業のボランティアとして参加する者が出てきている。
ウィークエンドファミリープログラム 家族向け宿泊プログラムを提供する。	年間を通し実施（8月以外毎月1回）し、計575名が参加した。リピーターが多く、三浦ならではのプログラムを期待して参加する方が多い。
ふれあいCUPサッカー大会 三浦半島エリアを中心に8歳以下の低学年を対象としたサッカー大会を実施する。	8チーム200名の参加があった。大会に出場する機会の少ない8歳以下の年齢に限定し、募集のターゲットを絞ったことが参加者の増につながった。
田んぼサークル 里山保全の活動として近隣の田んぼで田植えから収穫、食まで行う。	年間4回実施し、68名が参加した。三浦半島の里山の休耕田を耕し、米を育てることで、昔の生態系を再生することができた。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	83,880	84,422	103,608
対前年度比		100.6%	122.7%
目標値	88,000	85,000	86,000
目標達成率	95.3%	99.3%	120.5%

目標値の設定根拠： 前年度の利用者数を基に、利用者の増加を見込んで設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書に記載された人数の合計（利用者）

[参考：最大利用可能人数／年]

	宿泊定員				合計
定員	433				
年間利用可能日数	358				
最大人数※	155,014	0	0	0	155,014
稼働率	30.90%	%	%	%	%

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者が施設を利用する都度、アンケート用紙を利用者に配布し、調査する	サービスの向上に努めた結果、上位2段階の割合が90.9%と高い評価を得ている。

[施設としての総合的評価]

質問内容 全体的な印象はいかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 798 / 1070 = 74.6%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらとも いえない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答 があった 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	242	409	63	2	0	716	
回答率	33.8%	57.1%	8.8%	0.28%			
前年度の 回答数	247	311	36	2	0	596	
前年度回答率	41.4%	52.2%	6.0%	0.34%			
回答率の 対前年度比	81.6%	109.5%	145.7%	83.2%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 スタッフの対応についてはいかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 798 / 1070 = 74.6%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらとも いえない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答 があった 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	390	274	47	1	0	712	
回答率	54.8%	38.5%	6.6%	0.14%			
前年度の 回答数	352	213	28	1	1	595	
前年度回答率	59.2%	35.8%	4.7%	0.17%	0.2%		
回答率の 対前年度比	92.6%	107.5%	140.3%	83.6%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	142,451	2,280			144,731	144,731	0	100.00%
	決算	142,451	2,348			144,799	143,452	1,347	100.94%
前年度	当初予算	146,451	2,416			148,867	148,867	0	100.00%
	決算	146,451	2,409			148,860	145,914	2,946	102.02%
27年度	当初予算	148,209	2,450			150,659	150,659	0	100.00%
	決算	148,209	2,613			150,822	147,323	3,499	102.38%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 1,000千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。